

## 「サロンアジサイ」

in 笹子町 原

代表者さんより (主な内容含)

原サロンアジサイです。

月1回のサロンでは、20名以上の人たちが参加し、カラオケ、体操などをし、皆でおしゃべりをしながら、お茶会をします。近所ではなかなか会うことが少なくなりましたので、みんなで集まると話に花が咲きます。いつまでも元気で参加できるように皆でがんばっています。

佐藤 あや子さん

こういう場に来ないと家にずっといます。ここに来ると、みんなの顔が見れて、世話をしてくれる人もいて…、ここに来ないとみんなに会えないので感謝しています。

佐藤 林子さん

サロンに来るようになって、みんなに会えるのが楽しいです。来ないとなかなか会えない人もいるから、毎回参加したいです。

小林 みち子さん

ひとり暮らしだから、ここに出てくることでみんなと話ができます。話すのって、脳の活性化にもなるんですよ？ひとりで出かけることも出来るけど…、皆でいる事や話をするこの方が楽しいです。

三枝 正子民生委員さん

参加して1年になります。この場に来て、参加してみないと分からない交流があり楽しいです。お姉さんたちに教えてもらいたい色んな料理も覚えたいです。みんなにも参加してもらいたいと思います。

- 代表者 奥村 恵美子
- 利用者 17名 / ボランティア 13名
- 実施会場 笹子公民館原分館



## おおつきお助け隊 初めての生活支援活動

おおつきお助け隊 初活動!

今回は、お助け隊依頼、第1号の利用者さん宅の活動の様子について紹介します。市内在住の一人暮らし男性から依頼があり、足腰が悪く、高い場所の掃除が出来ないため、お正月に向けて神棚の掃除を行ってほしいとの依頼があり、お助け隊2名で活動を行いました。「自分で掃除したいけど高所のため、転倒が不安で掃除をためらう」こういったことで困っている方も多くいるのではないのでしょうか?このような作業は、足腰がしっかりしていないと転倒の恐れがあるため、自分では出来ませんよね。また、介護保険サービスでの訪問介護では、対応出来ないことを知っていますか? お助け隊は、



○利用者さんの感想  
お助け隊を依頼して、初めはどんな人が来るのか心配だったが、すごく丁寧に対応してくれて、安心した。また、困ったときには、お願いしたい。

「お助け隊」初活動後のおもい

おおつきお助け隊 隊長 小俣 公司

広報おおつきでお助け隊の記事を見て頂けたのでしょうか。早速、12月11日(月)にご依頼を頂き、内容は、神棚の清掃と整理とのことでした。

当日、相手と二人して時間を待ち合わせ、玄関の呼び鈴を押させていただきました。心臓は高鳴り、緊張して頬が紅潮してくる事がわかりました。玄関で呼び鈴を押した訪問の用向きを告げ、隊員証の提示をさせていただきます室内に入らせていただきました。

加齢によって高所の活動に不自由を感じていたところ、記事を見てすぐに社協の担当者に連絡をしたことでした。丁度二人が時間を調整できましたので、対応させていただきましたこととなりました。

お助け隊の私達は、内容が内容ですので、失礼を顧みずお浄めの為の、手洗いと口濯ぎをお願いし、二人して洗面所で清めさせていただきますました。

活動に入る前に、神棚に向かわせていただき、二礼二拍手一礼のご挨拶をさせていただきます、終了後にも同様のご挨拶を神棚に向かい手を合わせさせていただきました。

全時間的には、ご挨拶等を含め40分位だったかと思われまます。ご依頼された方は、終始笑顔で「こんなにしてください、所定の金額で良いのですか。」とのこと、私達も「初めて

## 地域福祉志向が高まる 今

特に制度の谷間にある問題や潜在化している問題、新たな問題への取り組みが必要となってきた今日、おおつきお助け隊の活動は、これらの問題に対する取り組みとして、大月市の地域福祉の推進に大きな意味をもたらしてくれるものであります。

今まで活動を行ってきたボランティアグループや市民活動グループなどを含め、地域住民みんなで、発生する問題に対し、解決できる仕組みづくりや助けあい・支えあいのありまちづくりを考え、創っていく必要があります。

みんなで取り組んでいきたいと思います。

